

## 指導と評価の年間計画（マンガ基礎）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	マンガ基礎	学年	2	指導クラス	1～3		
単位数	2	使用教科書	集英社		副教材・問題集等	描きたいを信じる マンガの描き方	

### 1. 科目の目標

- ・マンガの幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、マンガやアニメーションを愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
- ・マンガ表現の特性を理解させ、画像によって自分の意思が伝達できるような技能を身に付ける。
- ・マンガが生活における身近な存在であり、密接に関わっている事を感じられる題材の設定をする。
- ・多様な漫画作品を鑑賞する活動を通して、漫画文化を理解し、お互いの個性を尊重する態度を育てる。

### 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組み態度 c
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫マンガの動きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもってマンガやアニメーション文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組みようとしている。</li> </ul>

### 3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	オリエンテーション 用具の使い方	・年間の学習内容 ・マンガ用語の基礎知識。	2	・マンガ基礎の学習内容に興味関心を持ち、学習に期待を持っているか。	・観察 ・総合評価	○	○	○
		・専門的な用具を学ぶ。	8	・用具の種類を知り、名前と用途が覚えられたか。 ・用具の特性を理解して正しく効果的に使用しているか。	・作品 ・観察 ・総合評価	○	○	○
6	画材の特性と技法 模写	・画材の種類や適性。	8	・画材の特性を生かした表現をしているか。	・作品 ・観察 ・総合評価	○	○	○
		・模写(写し取る技法)。	15	・見本のとおり忠実に再現できているか。 ・人物を観察し特徴を捉えられているか。	・作品 ・観察 ・総合評価	○	○	○
9	人物の描きわけ キャラクター制作	・写真資料による老若男女の描写 ・マンガのキャラクター	15	・模写からキャラクターへ効果的な置き換えができていないか。 ・写実的な表現からマンガ的なデフォルメができていないか。	・作品 ・観察 ・総合評価	○	○	○
		・オリジナルキャラクター制作	2	・独創的で魅力あるキャラクターを創り出しているか。 ・著作権や知的財産権を考えて制作しているか。	・作品 ・観察 ・総合評価	○	○	○
1	表情の研究 全身の捉え方	・マン符や効果音などの表現 ・キャラクターの表情	15	・マン符、効果音など、マンガ独自の表現方法の学習。 ・人物クロッキーで全身を捉えているか。	・作品 ・観察 ・総合評価	○	○	○
2		・キャラクターの動作。 ・まとめ	5	・制作したキャラクターに動きを付ける。 ・制作したキャラクターの個性を基にした表情の研究。 ・年間活動を振り返りマンガに対する理解と可能性を知る。	・作品 ・観察 ・自己評価	○	○	○
			70					